

**平成24年度**

**北の国・森林づくり  
技術交流発表会**

**平成25年1月24日～25日  
北海道立道民活動センター  
かでのる2・7**

# 平成24年度

## 北の国・森林づくり技術交流発表会スケジュール

----- 1月24日（木） -----

**820研修室（8F）**

1. 開 会 9：00より
2. 北海道森林管理局長挨拶
3. 審査委員紹介
4. 一般発表

### 森林技術部門

プログラム	1～4	9：30～10：30
休憩		10：30～10：50
プログラム	5～8	10：50～11：50
昼食休憩		11：50～13：00
プログラム	9～11	13：00～13：45
休憩		13：45～14：00
プログラム	12～14	14：00～14：45
休憩		14：45～15：00

### 森林ふれあい部門

プログラム	15～19	15：00～16：15
休憩		16：15～16：30

## 高 校 部 門

プログラム 20～22 16:30～17:15

----- 1月25日(金) -----

大会議室(4F)

### 4. 一 般 発 表

## 国 民 の 森 林 部 門

プログラム 23～26 9:45～10:45

休 憩 10:45～11:00

プログラム 27～31 11:00～12:15

昼食休憩 12:15～13:00

5. 特 別 発 表 13:00～15:05

休 憩 15:05～15:20

6. 特 別 講 演 15:20～16:10

休 憩 16:10～16:30

7. 表 彰 式 16:30～17:00

講 評

表 彰

8. 閉

会 17:00 (予定)

# 平成24年度北の国・森林づくり技術交流発表会プログラム

かでの2・7 「820研修室」8階

1月24日(木)

1日目

注:氏名欄の○印は発表者

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
1	森 林 技 術	より良い山作りを目指して ～択伐跡地のその後～ 知床森林センター ○武隈 智 南 公一郎 昭和62年に択伐(ヘリ集材)を実施した箇所において、その後の林分推移調査を5年毎に行っている。樹種構成や蓄積の変化等について分析し、ヘリ集材、択伐が林分に与えた影響、今後の課題を考察。	9:30 ～ 9:45
2	森 林 技 術	イトウを守り、 <sup>もり</sup> 森林をつくる 上川南部森林管理署 森 陽介 落合・奥落合国有林の河川には希少種であるイトウが生息している。イトウを保護しつつ水源涵養機能の維持増進を図っていく	9:45 ～ 10:00

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
		<p>森林整備が重要となっている。このことから、イトウに配慮した森林整備について有識者と検討したことについての報告。</p>	
3	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">グイマツ雑種F<sub>1</sub>低密度植栽実証林の成長経過について</p> <p style="text-align: center;">石狩振興局森林室普及課 ○向 敏明</p> <p style="text-align: right;">武田 仁志</p> <p>石狩振興局森林室では、グイマツ雑種F<sub>1</sub>の樹種特性を活かし、植栽本数を少なくすることで生産コストの低減と、作業の省力化に向けた施業技術を地域に普及・定着させるための実証林を平成19年に設定。植栽後5年間の成長比較と作業コストについて検討したことについての報告。</p>	10:00 ～ 10:15
4	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">新技術は北の森に根付くか</p> <p style="text-align: center;">～コンテナ苗成長状況～</p> <p style="text-align: center;">森林技術センター ○友田 敦</p> <p style="text-align: center;">(独)森林総合研究所北海道支所 佐々木 尚三</p> <p>近年、北海道においてコンテナ苗の育苗が始められたが、このコンテナ苗について北海道で有効な造林技術となり得るのかを検</p>	10:15 ～ 10:30

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
		証するため植栽試験を行っている。植栽後1年目ではカラマツコンテナ苗で良好な成長が見られるところであり、これまでの取組みについて報告。	
<b>休憩 10:30～10:50</b>			
5	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">土砂災害に負けない林道づくり</p> <p style="text-align: center;">日高北部森林管理署 村田 修也</p> <p>「地すべり」「斜面崩壊」等の土砂災害が発生しやすい地形・地質での林業専用道の開設について、過去の林道被災状況を基に施工に当たっての留意点等を考察。</p>	10:50 ～ 11:05
6	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">未来に残す森林づくり</p> <p style="text-align: center;">～地域の連携で活性化するこれからの人工林施業～</p> <p style="text-align: center;">釧路総合振興局産業振興部林務課 番藤 浩一</p> <p>釧路総合振興局で取組んでいる「今後の人工林施業の方向性」の検討をより充実したものにするため、国有林と民有林の技術交流・情報交換を図る検討会を実施。今までの経過及び検討内容について報告。</p>	11:05 ～ 11:20

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
7	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">低コスト林業の普及に向けた取組み ～誘導伐とコンテナ苗の一括発注～</p> <p style="text-align: center;">宗谷森林管理署 ○佐々木 健司</p> <p style="text-align: right;">田中 淳</p> <p>わが国の森林・林業の再生に貢献するための課題である低コスト化を実現する技術の普及に資するため、伐採とコンテナ苗植付の一括発注方式によるコスト削減の取組みについての報告。</p>	11:20 ～ 11:35
8	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">天然林択伐試験地における成長解析</p> <p style="text-align: right;">空知森林管理署 高橋 昌敬</p> <p>当署管内に設定されている大夕張択伐試験地においての針広混交林の成長推移について解析し、今後の針広混交林化した造林地施業への参考となるか考察。</p>	11:35 ～ 11:50
<p><b>昼食休憩 11:50～13:00</b></p>			

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
9	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">コンテナ苗育成技術の確立に向けて</p> <p style="text-align: right;">紋別地区種苗協議会 遠藤 貞</p> <p>コンテナ苗を短期間に養成するために規格に達した幼苗を移植する方法、コンテナ苗の根鉢形成と幼苗移植時期、根鉢を痛めなくて抜き取る工夫、移植器具、コンテナ苗小運搬器具などの開発、更にコンテナ苗の生長・活着についての思案を発表。</p>	13:00 ～ 13:15
10	森 林 技 術	<p style="text-align: center;">新たなシステム販売の取組みについて</p> <p style="text-align: right;">上川北部森林管理署 ○長田 拓也</p> <p style="text-align: right;">北森協同組合 近井 孝義</p> <p>北海道森林管理局で初めての自動選別機による素材の計測を採り入れたシステム販売を今年度から当署で実施している。その実施状況並びに実施における課題及び改善点等について報告。</p>	13:15 ～ 13:30
11	森 林	<p style="text-align: center;">フリー(自由)なGISを利用した森林管理</p>	13:30 ～ 13:45

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
	技 術	<p style="text-align: center;">檜山振興局産業振興部林務課 喜多 耕一</p> <p>近年フリーソフトのGIS(QuantumGIS)が非常に使いやすくな          ってきています。導入コストはゼロで高性能な森林GISを活用し          森林 GIS の利用拡大と森林管理への利用の取組みについて          報告。</p>	
<h2 style="margin: 0;">休憩 13:45～14:00</h2>			
12	森 林  技 術	<p style="text-align: center;">モバイルカリング(エゾシカの効率的な捕獲手法)の試行          ～森林管理者から見た浜中町のケーススタディ～</p> <p style="text-align: center;">釧路総合振興局森林室 ○篠原 由佳</p> <p style="text-align: right;">近 大輔</p> <p style="text-align: right;">鈴木 匡</p> <p>浜中町の道有林において、厳重な安全管理のもと、林道を車          両で移動し、銃猟によりエゾシカを捕獲する手法を試行した。</p> <p>この手法は、各地域において取組みが可能のため、効率的な          エゾシカの個体数調整が期待できることの報告。</p>	14:00 ～ 14:15
13	森 林		14:15 ～

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
	技 術	<p>地域材の活用に向けた庁舎内装木質化の取組みについて</p> <p>釧路総合振興局産業振興部林務課 佐野 弥栄子</p> <p>釧路地域の森林資源を活用し、地域で生産された木製品をPRするためカラマツフローリングとアカエゾマツ壁材を使った内装木質化を実施したので経緯について報告。</p>	14:30
14	森 林  技 術	<p>コンテナ苗が創る新しい造林の姿</p> <p>～功程調査で見えてきたこと～</p> <p>留萌南部森林管理署 ○刈上 優也</p> <p>千年 純也</p> <p>森林整備を行う上では、造林コストの縮減を図ることが課題である。今回マルチキャビティコンテナ苗の植栽に係る調査のため、現地検討会を開催し各種作業用具を使用して功程調査等を行ったデータとその分析の報告。</p>	14:30 ～ 14:45
<p>休 憩 14:45～15:00</p>			

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
15	森 林 ふ れ あ い	<p style="text-align: center;">大規模な地拵が不要なブナ林再生手法の提案</p> <p style="text-align: center;">黒松内ブナ再生プロジェクト ○斎藤 均</p> <p style="text-align: center;">茂尾 実 新川 幸夫</p> <p>昨年度は、大規模なブナ林を効率的に再生するために、斜面上部にブナの母樹を早く育てて斜面のササの一斉開花枯死を待つという手法を提案した。今年は斜面上部のササの中に効率的にブナの母樹を育てる一手法を提案。</p>	15:00 ～ 15:15
16	森 林 ふ れ あ い	<p style="text-align: center;">すごいがいっぱい！「オホーツクの森」</p> <p style="text-align: center;">常呂川森林環境保全ふれあいセンター 菊地 浩司</p> <p>当センターが活動フィールドとしている「オホーツクの森」は、どこでも見られる森林ではあるが、良く調べて見ると、生物多様性に富んでいる森林であり、また、たくさんの人がこの森林に係わっていることを報告。</p>	15:15 ～ 15:30
17	森 林 ふ れ あ い	<p style="text-align: center;">グリーンスクールを通して子どもたちの視点を知る</p> <p style="text-align: center;">檜山森林管理署 ○腰越 玲翔</p>	15:30 ～ 15:45

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
		<p style="text-align: right;">佐藤 勝</p> <p>グリーンスクールに参加した小学生にアンケートを行い、森にどんな印象を持っているか、プログラムのどんなところが印象に残るのか調査し、今後のふれあい活動で、どういった手法が効果的か検討したので報告。</p>	
18	森 林 ふ れ あ い	<p style="text-align: center;">新たな植樹への取組み ～ボランティアとともに～</p> <p style="text-align: center;">釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター ○川渕 義昭</p> <p style="text-align: right;">宮本 元宗</p> <p>自然再生事業地で活動しているボランティアグループを紹介するとともにセンターで今年度から試行的に実施している植栽方法を紹介。植樹方法の有効性については、今後データの蓄積により検証する予定。</p>	15:45 ～ 16:00
19	森 林 ふ れ あ い	<p style="text-align: center;">再生! 野幌の森林</p> <p style="text-align: center;">NPO法人シーズネット豊友会 ○長尾 隆</p> <p style="text-align: center;">石狩地域森林環境保全ふれあいセンター ○佐藤 充</p>	16:00 ～ 16:15

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
		<p>平成16年に本道を襲った台風により被害を受けた野幌国有林において森林を再生するための取組みの「野幌森林再生プロジェクト」の一環として団体型森林づくりを現在11の民間団体が、平成17年度から本格的な活動をしており、その一団体のNPO法人シーズネットのこれまでの活動について報告。</p>	
<h1>休憩 16:15～16:30</h1>			
20	高 校	<p style="text-align: center;">「大沼」から全国、そして世界へ  <small>も</small>り  <small>り</small>～「森林づくり塾」発～</p> <p style="text-align: center;">函館水産高校 ○水戸 隆太 我妻 雅夫      駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター 福士 忍</p> <p>「大沼」の水質改善運動を通して気付いた森林保全の大切さ、「森林づくり塾」に参加して体験した森林保全の大変さ、これらの活動・体験が新たな環境活動の場へと広がったことについて報告。</p>	16:30 ～ 16:45
21	高 校	<p style="text-align: center;">演習林の天然更新を目指して</p>	16:45 ～ 17:00

順 番	部 門	発 表 題 名 ・ 発 表 者 ・ 発 表 要 旨	時 間 帯
		<p style="text-align: center;">～林床環境改善の取組み～</p> <p style="text-align: right;">岩見沢農業高校 ○中川 一輝</p> <p style="text-align: right;">○吉川 昭彦</p> <p style="text-align: right;">政角 博文</p> <p>本校演習林では、昭和30年～40年代にかけ、トドマツを主体に植林しているが、実習で管理できる時間は限られ、適切な管理状況とはいえない。この状況を打開するために巻き枯らしによる除伐・間伐法の検討したことについて報告。</p>	
22	高 校	<p style="text-align: center;">トンボの指標を使おう！</p> <p style="text-align: right;">札幌旭丘高等学校 関口 絢子</p> <p>トンボは幅広い環境を利用し、種類により利用環境が異なるため環境の指標になると考えた。トンボ相の変動の追跡調査と昨年度作成したトンボによる環境の指標に4年間のデータを当てはめた結果を発表。</p>	17:00 ～ 17:15
24日(1日目) 終了			

# 平成24年度北の国・森林づくり技術交流発表会プログラム

かでの2・7「大会議室」4階

2日目

1月25日(金)

注:氏名欄の○印は発表者

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
23	国民 の 森林	民有林と国有林の架け橋 ～団地設定による作業道の共同利用～ 根釧東部森林管理署 ○今野 智之 根室振興局森林室 ○山本 健治 去る5月に根室管内3町と根釧東部森林管理署は格子状 防風林等の整備と保全に関する包括的な協定を締結した。こ れに基づき、根室振興局森林室との連携により共同施業団地 を設定したので報告。	9:45 ～ 10:00
24	国民 の 森林	ペレットストーブの普及を目指して ～国有林ができること～ 上川中部森林管理署 今廣 佐和子 持続可能社会を目指すうえで、重要と考えられるペレットスト	10:00 ～ 10:15

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		<p>ープについて普及が進まない原因や近年の動向等を整理しながら、北海道の国有林がペレットストーブの普及促進のために何ができるか考察。</p>	
25	国民の森林	<p style="text-align: center;">翼を大きくひろげて ～シマフクロウ生息地の森林の管理～</p> <p style="text-align: center;">網走南部森林管理署 ○山下 誠護 枝澤 則行 FILIN シマフクロウ環境研究会 竹中 健</p> <p>シマフクロウ生息地におけるアカエゾマツ人工林の間伐と林道沿線木の処理について、シマフクロウ研究者と共同して取り組んだ施業方法の事例についての報告。</p>	10:15 ～ 10:30
26	国民の森林	<p style="text-align: center;">森林とふれあい・まなび・つくる ～「てしお森遊会」の活動～</p> <p style="text-align: center;">留萌北部森林管理署 渡邊 博司</p> <p>「てしお森遊会」は森林ボランティア団体。森林整備協定により、植樹・下刈活動を実施し、他のイベント等にも参加、地域における緑化活動に取り組んでいる。平成24年3月には、これま</p>	10:30 ～ 10:45

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		での積極的な活動が認められ、北海道森林管理局長より「国民の森林づくり」の感謝状を授賞。これまでの活動についての報告。	
<h1>休憩 10:45～11:00</h1>			
27	国民 の 森林	<p style="text-align: center;">パイロットフォレストに対する意識と利用ニーズ ～地域住民への情報発信のあり方に関する基礎研究～</p> <p style="text-align: center;">根釧西部森林管理署 ○長谷川 学 石橋 美幸</p> <p>国有林イベント参加者と地域住民に向けパイロットフォレストに対する意識と利用に関するアンケート調査を行い、両者の比較分析のもと地域住民への情報発信の現状の課題と今後のあり方についての考察。</p>	11:00 ～ 11:15
28	国民 の 森林	<p style="text-align: center;">みんなで発見「地域資源ポロトの森」</p> <p style="text-align: center;">胆振東部森林管理署 ○若松 ちさと 塩谷 昌土 中西 誠</p>	11:15 ～ 11:30

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		<p>平成23年度に当署と白老町が共催した「森林フォーラム」の提言等を踏まえて、ポロト自然休養林の保全や活用方策等を具体化するために、関係者及び有識者が連携・協働する協議会を立ち上げた取組みの報告。</p>	
29	国民の森林	<p>地域コアメンバー1年間の取組み</p> <p>空知森林管理署 細野 高德</p> <p>北海道に合った路網・作業システムを推進するため、地域で意欲ある者12名により地域コアメンバー会議を2月14日に発足。隣接署同士の検証的現地検討会、先進的な局視察、作設マニュアル作成の取組みと成果を報告。</p>	11:30 ～ 11:45
30	国民の森林	<p>平成16年台風18号による被害復旧森林の生育状況について</p> <p>NPO 法人支笏湖復興の森づくりの会 ○石田 守雄</p> <p>石狩森林管理署 小林 大樹</p> <p>支笏湖周辺の台風18号による被害の復旧は、NPO やボランティア等の参加も重要と位置づけられ、セブンイレブンみどり</p>	11:45 ～ 12:00

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		<p>の基金による植樹と、支笏湖周辺台風被害・復興の森づくりの会による保育作業が行われている。</p> <p>これまでの6年間の取組みと被害森林の生育状況について報告するとともに、取組みの成果と今後の課題について検証。</p>	
31	国民の森林	<p>安心して利用いただけるキャンプ場を目指して ～野営場の効果的施設点検に向けた取組み～</p> <p>十勝西部森林管理署東大雪支署 ○濱田 美雪 倉内 晃</p> <p>国設野営場は多くの国民が利用し、利用者の安心・安全の確保は、国有林への信頼にとって重要である。効果的な施設点検に向け時期や内容等を再整理し、また点検結果をより有効に活かせる体系へと見直したことについての取組みについて報告。</p>	12:00 ～ 12:15
<h1>昼食休憩 12:15～13:00</h1>			
1	特別発表	協働による森林管理の現状と課題	13:00 ～ 13:25

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		<p style="text-align: center;">(独)森林総合研究所北海道支所 北方林管理研究グループ グループ長 八巻 一成</p> <p>国有林では、関係者との協働による森林管理のための様々な取組みが進められている。本発表では、事例調査をもとに、協働の取組みがもたらした成果、及び協働の取組みの課題について発表。</p>	
2	特別発表	<p style="text-align: center;">苗木増殖技術から始まる林木育種と林木のジーンバンク (独)森林総合研究所林木育種センター 北海道育種場 ○遺伝資源管理課長 植田 守 収集管理係長 小園 勝利</p> <p>林木育種と林木のジーンバンクで利用されている基本的な増殖方法に加え、組織培養やコンテナ苗試験の状況について紹介。</p>	13:25 ～ 13:50

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
3	特別発表	<p style="text-align: center;">北海道における准フォレスターの活動実態            ー市町村森林整備計画策定支援を中心にー</p> <p style="text-align: right;">北海道大学大学院農学院            森林政策学研究室</p> <p style="text-align: right;">修士2年 平野 あゆみ</p> <p>北海道において准フォレスターとなった林業普及指導員が、市町村森林整備計画作成の過程において、どのような役割を果たしたかについて述べ、准フォレスターの可能性について考察。</p>	13:50 ～ 14:15
4	特別発表	<p style="text-align: center;">カラマツ畜舎の普及に向けた試験の取組み            ー構造材生産と経済・環境評価ー</p> <p style="text-align: center;">(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部</p> <p style="text-align: center;">林産試験場 技術部生産技術グループ</p> <p style="text-align: right;">研究主任 ○北橋 善範</p> <p style="text-align: center;">利用部マテリアルグループ研究職員 小俣 寛隆</p> <p>道産カラマツの用途拡大に向けて、畜舎の構造材への利用</p>	14:15 ～ 14:40

順番	部門	発表題名・発表者・発表要旨	時間帯
		<p>が期待されている。本発表では低コストで高品質な畜舎用構造材の乾燥方法確立への取組みと、木造畜舎のコスト面、環境面からの評価について報告。</p>	
5	特別発表	<p>道内ドマツ・カラマツ人工林の資源動態と 径級別の供給可能量 (地独)北海道立総合研究機構森林研究本部 林業試験場 研究職員 津田 高明</p> <p>森林・林業再生プランによる木材生産の施設面及び制度面の整備に伴い、木材生産量の増加が予測されている。本研究では現地調査や統計資料を基に「持続可能な」出材可能量と原木の径級分布の長期変動を考察。</p>	14:40 ～ 15:05
<p><b>休憩 15:05～15:20</b></p>			

# ◎特別講演

15:20～16:10

「林業再生における  
国有林に期待すること」

北海道森林組合連合会

代表理事副会長 野呂田 隆史氏